

実践記録 71 シリーズ

市町村合併を考える

松之山町公民館



1 はじめに

松之山町では、地域課題や現代的課題について学習する機会「町づくり町民講座」を開催していますが、目前に控えた市町村合併をテーマに、シリーズで取り上げてまいりました。

文書や報道だけに頼らず、最大限可能な情報を収集し、みんなで議論し知恵を出し合い、合併するとすれば、より望ましい方向で納得のいく合併を目指したいと考えました。

このようなことから、13年度に県市町村合併支援課伊藤課長補佐様においでいただき、「市町村合併の背景と県の示す合併パターンについて」お話いただいたのを初めに、14年度には「松之山町の将来にとって合併がよいのか、合併しない方がよいのか話し合いました」と佐藤利幸町長を囲んでの意見交換会や、合併問題に独自の考えをお持ちの長野県栄村長高橋彦芳様においでいただき、お話を伺いました。

2 町民講座の内容

そして15年度は継続企画として、シリーズで5回開催いたしました。

1回目は、十日町広域圏任意合併協議会に参加せず、自立の道を選択した津南町長小林三喜男様より、その経緯や合併に対する考えをお聞きしました。山あり谷ありの町村を守るのは自分たちしかないことや、平場と山間地では好ましい人口規模は違い、山間地で

は2万人が限度ではないかと力説され、ふるさとに対する思いが強く感じられました。

2回目は、十日町広域圏任意合併協議会会長の中里村長山本茂穂様より、「この地域の望ましい合併について」というテーマでお話いただきました。

3回目は、川西町商工会副会長小林正夫様においでいただき、「活力のある地域づくり、市町村合併による自力か他力か」をテーマに、商工会の立場からお話いただきました。

4回目は、県議会議員村松二郎様においでいただき、県内における市町村合併の状況や、各事務所の所管区域の変更などを交えてお話いただきました。

合併で良くなることは考えられない。でもみんなで決めたことであれば多少の困難・問題は我慢することができる。とみんながよく考えることの大切さを教えていただきました。

町づくり町民講座
シリーズ「市町村合併を考える」

市町村合併により、地域振興工業は活性化できるか。今回は、川西町商工会副会長 小林正夫様 においで頂きます。川西町商工会において、市町村合併が地域振興に発展出来るかなど検討されております。どんな内容でどう方向づけようとしているのでしょうか。行政サイドと違った立場から考えたい講座です。

日時 平成15年8月8日(金)
午後7時30分～9時


会場 松之山町自然休養村センター

講師 川西町商工会副会長 小林正夫 様

演題 「活力ある地域づくり」
副題 — 市町村合併による自力か他力か —

小林正夫 様 ご紹介

川西町議会幹事長兼常任委員長 2期目
川西町商工会副会長
NPO 集約ゆうき副理事長
株式会社 集約ゆうき代表取締役



お問い合わせは、事務局の電話をお呼びください。

主催：松之山町・松之山町公民館

5回目は、町議会議員全員の皆さんに出席を要請し、それぞれの考えをお聞きしました。

当町が加わる十日町広域圏任意合併協議会支持や単独自立支持など意見が分かれていましたが、参加者からは初めて議員一人一人の意見が聞けて良かった。いろいろな考えを聞き参考になった。などの感想と、合併賛成・反対に分かれてディベートを行ったらどうかという意見もいただきました。

3 ふり返って

人口3000人ほどの小さな町での「町づくり町民講座」ですが、「シリーズ市町村合併を考える」では、100名を超える参加者を得た時もあり、住民の関心の強さを感じました。

そして講座に参加した皆さまから、大変良い講座であった。いろいろな考えを聞き参考になった。自立・合併いずれにしても地域の自治組織の確立が必要であり地域が基礎である。これからの町民のやりやすい方向へ転換してほしい。など前向きな意見を沢山いただきました。

限られた時間の中で、まだまだ議論し尽くせない状況であり、未だ方向を模索しているところですが、お忙しい中にもかかわらずおいでいただいた講師の皆様へ感謝し、町民の皆様と共にいろいろな角度から沢山の貴重なお話をお聞きすることができたことに心より感謝しています。

そして、この講座が今後の方向づけに大きな力となってくれることを望んでいます。